

編集委員がインタビュー!

みんなのひろば



このコーナーでは、町内で活動しているみなさんのところに編集委員がおじゃまして、活動内容を伺っています。今回は、「まちづくり玉村塾」取材してきました。

歴史資産を活かしたまちづくりを目指して

「まちづくり玉村塾」 塾長 外丸健一さん



設立の経緯を教えてください。

A 玉村町の中心地区である上新田・下新田地区は、江戸時代に日光例幣使道の宿場町として栄え、赤煉瓦倉庫などの歴史資産が今も残っています。これらの財産を再認識し、歴史資産を活かしたまちづくりを考えていこうと、平成15年に発足しました。



どんな活動をしているのですか。

A 赤煉瓦倉庫での年2回の企画展、酒蔵を利用したジャズコンサート、玉村八幡宮での燈籠まつりなどです。また、酒米を栽培し、オリジナルのお酒もつくりました。



これからの目標・展望は。

A 歴史資産を活用し、地元を元気にして、町を活性化させたいと思います。住民と行政が協働し、愛着を持って暮らせるまちづくりを目指します。

次の定例会は
9月2日(水) 開会
 の予定です。
本会議・委員会はどこでも傍聴できます。
 詳しくは議会事務局
TEL 64-7716 まで
 6月議会は延べ76名の方に傍聴いただきました。次回もたくさんの方の**傍聴をお待ちしています**

ご存じですか?
たまむら議会だよりはホームページからも見られます!

玉村町議会 **検索**
 で検索してください。

〈3択クイズこたえ〉

- 問1 ③ 10月1日 問2 ① 議会議員の6月期賞与カット 問3 ③ 文教福祉常任委員会 問4 ② 0.2ヵ月 問5 ③ 9月2日

- 議長 石川眞男
 委員 町田宗宏
 委員 齊藤嘉和
 委員 島田榮一
 委員 原幹雄
 副委員長 筑井あけみ
 委員長 三友美恵子

議会広報特別委員会

「正しい情報のもとに行動しましょう。正しい情報のもとに行動しましょう。正しい情報のもとに行動しましょう。」と厚生労働省のホームページにありました。▼何ごとも風評に惑わされることなく、何が正しい情報なのか自分で考え判断し、行動しましょう。

三友美恵子



次号は11月1日頃お届けする予定です

編集後記

正しい情報のもとに行動しましょう

▼2月下旬、メキシコ東部の村で、人口の6割に当たる1800人が新型インフルエンザを発症。瞬間に全世界へ広がっていきました。▼日本でも、5月9日にカナダから帰国した大阪の高校生2人と教師1人が、日本で初の感染者と確認されました。その後神戸・大阪の高校生が次々に発症し、学校が閉鎖される事態となりました。▼今でこそ、季節性インフルエンザとあまり変わらないといわれていますが、当時はどんなウイルスなのか、どんな影響があるのかわからなかったため、学校や学校関係者に対して誹謗中傷が後を絶たなかったそうです。▼国立感染症研究所の安井研究官は、感染症は「誰が悪い」と考えるのはナンセンスである。「感染症を不必要に、過剰に怖がる必要はない。『正しく』怖がってほしい。」と言っています。▼「インフルエンザウイルスは、今後型を変えながら、世界的に広がる恐れがありますから、正しい情報にもとづいて冷静な行動をお願いします。」と厚生労働省のホームページにありました。▼何ごとも風評に惑わされることなく、何が正しい情報なのか自分で考え判断し、行動しましょう。